

日盲連発第95号
平成29年9月21日

総務省情報流通局
局長 山田真貴子 様

社会福祉法人日本盲人会連合
会長 竹下 義樹



要 望 書

日頃より、障害者の福祉の向上の実現に向けて日々ご尽力いただいておりますことに心より敬意を表します。

さて、「視聴覚障害者等向け放送に関する研究会」における「視聴覚障害者向け放送普及行政の指針」の見直しに向けて、視覚障害者団体として次のように要望事項をとりまとめました。

視覚障害者がテレビから正確に情報を得るためには音声解説放送は欠かせないものです。ご理解いただき実現に向けお取り組みいただきますようお願い申し上げます。

記

1. テレビ放送における、ニュース番組の字幕スーパー、テロップ、及び緊急・臨時放送チャイムの後の字幕スーパー、地震等の速報の音声化

多くの視覚障害者がテレビを主な情報源としています。視覚障害者にとって、最も切実な要望は緊急ニュース速報の音声化です。ニュース速報は、緊急地震予報をはじめ、気象に関する警報など災害や生命に関わる重要な情報もあります。

しかしそれらのニュース速報は、視覚障害者にとってはテレビからニュース速報のチャイム音が流れるだけで、ニュース速報が配信されているという事実は分かっても、内容が分からないため、不安や恐怖心を掻き立てることになります。

アナウンサー等による読み上げや合成した音声を副音声チャンネルにおいて自動送出する等の方法で、視覚障害者にも情報が伝わるよう徹底していただきたい。

2. 表示のみで提供される情報に対する音声による説明の徹底

アナウンサーが情報などを伝える際、「ご覧の通りです」と言うのみで、内容を音声で伝えないことがあります。画像が表示されていても、視覚障害者には読み取りが困難な為、音声での説明が必要です。放送時間の制限もあるため難しいところですが、可能な限り要点だけでも視覚障害者に伝えていただきたい。

3. 外国語のインタビュー、変声された音声等に付与されている翻訳字幕表示の音声化

視覚障害者がニュースなどを見ている時に困ることの一つは、外国人や変声されている人のインタビューがそのまま外国語で流されることです。字幕では日本語訳が画面に出ているのですが、字幕が読めない視覚障害者にとっては情報が得られません。

日本語の通訳者の声を流すか、字幕を読み上げるなどの方法で、視覚障害者でも外国人等のインタビューを理解できるようにしていただきたい。

4. テレビの視覚障害者向け解説放送の充実

ドラマやバラエティなどの番組では、NHKでも民放でも、徐々に音声解説放送が増えてきています。

これからも、視覚障害者のニーズの実態を踏まえ、できる限り多くの放送番組に解説放送を付与し、視覚障害者もテレビが更に楽しめるようになることが望まれます。

また、解説放送が付与された番組であっても、解説付与の量が不十分なため、番組内容の理解に困難を要するものもあります。視覚障害者も等しく情報を得られるような解説付与をお願いします。